

介護職員(初任者)養成科 受講生募集のご案内

定員
30名!

介護職員初任者研修課程修了と福祉用具専門相談員の資格を取得し、就職することを目的としています。



訓練科名	131 介護職員(初任者)養成科
応募資格	次のいずれにも該当する方 <ul style="list-style-type: none"> ・公共職業安定所(ハローワーク)に求職申し込みをされている方 ・公共職業安定所長の受講指示、受講推薦又は支援指示を受けられる方 ・ホームヘルパー(2級、1級)、介護職員基礎研修又は実務者研修修了資格を取得していない方
定員	30名 (ただし、選考後の受講予定者が10名に満たない場合、中止となる場合があります)
訓練期間	平成26年11月11日(火)～平成27年2月10日(火) 9:00～16:00 (土・日・祝日・12/29～1/2はお休み、ただし、12/23(祝)は訓練を行います。) ※介護実習期間は上記時間帯とは異なります。
訓練内容	介護従事者としての職業倫理と態度を養い、社会福祉及び関連領域の基礎知識と介護の技法・技術を訓練する。
目標資格	介護職員初任者研修課程修了(原則、遅刻・早退・欠席をしないこと及び修了評価(筆記試験)合格が条件となります)・福祉用具専門相談員
主な就職先	訪問介護事務所(ホームヘルパー)、デイサービス、特別養護老人ホーム、グループホームなど
受講料	無料 (ただし、テキスト代11,280円が必要です) ※別途、健康診断にかかる費用等
駐車場	有 有料(10,800円/月)
募集期間	平成26年9月19日(金)～平成26年10月21日(火)
選考日	平成26年10月27日(月)10:00から (適性検査・面接があります) 第2ボルファートビル1F(下図参照) ※選考に係る連絡はしませんので、入校願書を提出された方は、上記場所に9:45まで集合の上、選考を受けてください。(鉛筆2本持参)
申し込みのお問合せ先	最寄りの公共職業安定所(ハローワーク) もしくは富山県商工労働部職業能力開発課(Tel:076-444-3260)
主催	富山県技術専門学院 富山市向新庄町1-14-48 Tel:076-451-3508
実施機関	企業組合労協センター事業団サポートハウスぽぴー 〒930-0875 富山市寺町けや木台71 Tel :076-444-8633 E-Mail: boltoyamapp@roukyou.gr.jp http://www.workers-coop.com/honbu/hokusin/
選考場所 訓練場所	富山市奥田新町7-35 第2ボルファートビル1F (右図参照)
訓練内容のお問合せ先	Tel:076-433-2311 担当:村上



委託訓練カリキュラム

実施場所・施設名		富山市奥田新町7番35号 第2ボルファートビル1F		
訓練科名		131 介護職員(初任者)養成科	就職先の職務	病院、老人施設等の介護業務、訪問介護事業所等の訪問介護員
訓練期間		平成26年11月11日(火)～平成27年2月10日(火) 3か月	訓練人員	最少開講人員10名から 定員30名
訓練内容		介護従事者としての職業倫理と態度を養い、社会福祉及び関連領域の基礎知識と介護の技法・技術を訓練する。		
習得能力		基本的な介護を実践するための最低限必要な知識・技術。多職種と協働して総合的にサービスを提供することの理解、チームの重要性と責務の理解、コミュニケーション能力、的確な記録・記述の理解、人権擁護の視点、職業倫理の基本的理解。		
目標資格		介護職員初任者研修課程修了 福祉用具専門相談員		
科目		科目の内容		時間
訓練カリキュラムの内容	学	職務の理解	多様なサービスの理解 介護職の仕事内容や働く現場の理解	9時間
		介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護 自立に向けた介護	12時間
		介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携 介護職の職業倫理 介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全	12時間
		介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度 医療との連携とリハビリテーション 障害者自立支援制度及びその他の制度 地域包括支援センターについて 介護に関する基礎知識 介護の場面における福祉用具の活用 リハビリテーション概要 高齢者福祉制度の概要 在宅看護の基礎知識	36時間
		介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション 高齢者の心理	12時間
		老化の理解	老化にともなう心と体の変化と日常 高齢者と健康 医学の基礎知識 誤嚥と口腔のしくみ	21時間
		認知症の理解	認知症を取り巻く状況 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 認知症にともなう心と体の変化と日常生活 家族への支援	9時間
		障害の理解	障害の基礎的理解 障害の医学的側面基礎的理解 家族の心理、かかわり支援の理解	6時間
		こころとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 生活と家事 快適な居住環境整備と介護 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護 介護課程の基礎的理解	57時間
		振り返り	振り返り 就業への備えと研修終了後における継続的な研修	6時間
		試験対策	試験対策 筆記試験	6時間
		就職支援	就職支援 職場でのコミュニケーション 履歴書の書き方 面接の受け方 実習についてのオリエンテーション さまざまな働き方 衛生管理	24時間
		新しい社会福祉論	成年後見制度 ソーシャルインクルージョン・社会的事業所 災害時の対応 コミュニティケア	11時間
実技	生活支援技術演習	整容に関する実技演習 移動・移乗に関する実技演習 食事に関する実技演習 入浴、清潔保持に関する実技演習 排泄に関する実技演習 総合生活支援技術演習 介護技術 実技復習 口腔ケアについて 実技評価	66時間	
	介護実習	福祉用具の活用に関する実習 車両乗降介助 障害者とのスポーツレクリエーション 救急救命講習 介護事務について 介護実習(施設実習、同行訪問、デイ見学、総合復習、パソコンの基礎)	60時間	
訓練時間総合計 347 時間 (学科221時間、実技126時間)				
主要な機器設備		介護用ベッド、車椅子、介護浴槽、調理台一式 他		教材費等計 11,280円
受講対象		・初心者・他(程度)		検定料計 別途、健康診断に係る費用